



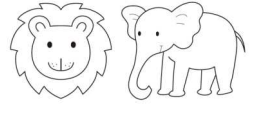
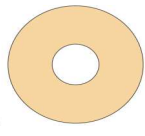
1歳児クラス 5月 第1回 「たべたのだあれ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「たべたのだあれ」を全員で連呼、子どもたちとゲーム感覚で「見つけっこ」を楽しみながら進行する。絵を見て観察力を養う。 ※必要に応じてペープサート（食べ物）を使用する。 シアターを動かし体に隠れた食べ物を拡大し確認する 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の表紙提示。 「ここにいる動物たちは、いろいろな物を食べたんだよ」「だれがなにをたべたのかな？見つけてみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (全9種チェックリスト参照) 	
導入		保育士の役割	子どもと一緒に見つけっこを楽しむ 

かくしゅうタイム

活動①	位置	ライオンとぞうの体に貼られたいちごとさくらんぼのシールを見つけ、同じ場所にシールを貼ることができる。	
設問		①「ライオンさん何たべた？」いちごシールを（鼻に）貼りましょう。 ②「ぞうさん何たべた？」さくらんぼシールを（しっぽに）貼りましょう。	教材
つなぎ		<ul style="list-style-type: none"> 講：「どうぶつさん食べたもの、からだのいろんなところに隠れていたね」 保：「とんとんとん！こんにちはー」とライオンを見せて登場。 	P1 P1用いちごシール さくらんぼシール 皿（シールゴミ用）
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 講：「ライオンさんが遊びに来たよ。あれ？何か美味しいもの食べたみたい！ライオンさん何食べた？」 保：ライオンプリントを子どもたちが見やすい様に近づけて見せる。 講：子どもたちの答えを受け、プリントを受け取り鼻を指さし「見つけた！」と確認。 講：「のっし！のっし！まだだれかいるよ」と半分に折った裏のぞうを提示。同様にしっぽの先の「さくらんぼ」の見つけっこ。 講：「おともだちたくさん連れてきたんだって」とプリント配布。 子どもたちプリントの絵を確認。 講：「何か変だね？」「何か足りないね？」「いちご食べたのだあれ？」「みんなのライオンさんいちご食べてる？」など問いかけ提示の絵と比べて足りない所に気づかせていく。 講：「みんなのライオンさんにもいちごあげようね」シール配布。ライオンの鼻にシールを貼る。 同様にぞうの絵の足りない所に気づきサクランボのシールを貼る。 シールのゴミは皿に捨てる。 講：「みんな貼れたかな。見せっこ」賞賛。 講：「どうぶつさんお散歩行くんだって。またねー」と回収。 	※提示用にいちごシールをライオンの鼻に、サクランボシールをぞうのしっぽの先に付けたものを準備。半折にして一体ずつ見えるようにしておく。 保育士の役割
活動②	描く	クレヨンに親しみリズムに合わせて色塗りを楽しむ	
設問		リズムに合わせ、タッピングや色塗りをしましょう。	教材
つなぎ		<ul style="list-style-type: none"> 講：「イチゴもサクランボも美味しそうだったね！何だかお腹空いてきちゃった」 保：「いいものあるよ！」と ドーナツプリント提示。 	P2 エッセンス ★クレヨン
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 講：「おいしそうなドーナツ。先生にもください」 保：「どうぞ！」と講師に手渡す。 講：「いいにおい！」受け取ったプリントに鼻を近づけ匂いを嗅ぐ。「みんなの分もありますか？」 保：「ありますよ」プリントを見せる。 講：「みんなも『ください』してもらおうか？」 ※「ください」ことばに出せなくても手を出すなど欲しい気持ちを行動で示すだけでも良い。（意思表示） 	※エッセンスを4月3回と同様にプリントに付けて準備しておく

<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにプリント配布。匂いを嗅ぐ感覚行動。 講：「もっと美味しくなるようにクリームつけようか？」クレヨン配布。腕まくりをして好きなクレヨンを選ぶ。 講：「先生はいちごの赤！〇〇ちゃんはバナナの黄色だね」等。色も意識。 講：「腕まくり クレヨンぎゅー（しっかり握る）、もう1つの手はポン（紙を押さえる）」見本をしっかり見せながら子どもたちもまねっこ。 「おさとう♪ポツポツ…」「クリーム♪ぐるぐる…」とリズムに合わせてタッピングや色塗りを楽しむ。 出来上がったら上に掲げて見せ合いっこ。「味見！いただきます」と食べるまねっこ。講師、保育士も「食べさせて」と子どもたちのドーナツを食べて回り「甘い！」「美味しい！」と賞賛。終了。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント提示。 配布プリント提示。 「ください」など意思表示を受けてプリント配布。 クレヨンの握り方、紙の押さえ方確認、フォロー。 エレビ演奏 賞賛
---	---

<p>数子ヤレ</p>	<p>比較</p>	<p>量の多少の比較。「多い（=いっぱい）」を知る。</p>	<p>教材</p>
<p>設問</p>	<p>くらべっこ！どっちが多い？（5対2）</p>		<p>おはじき 皿 ※おはじきを皿に輪留めでテープで固定させて提示すると見やすい</p>
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講：「今日は比べっこ。多い方（=いっぱいの方）教えてね」まずは保育士相手に見本行動。「♪くらべっこ♪くらべっこ（5対2）。どっちが多い？」とリズムにのせ楽しく進行。 保：お皿を見比べて多い方を「こっち！」と指さす。 最初なので、子どもの利き手の方に「5こ」の皿を提示すると難易度は下がる。また「5こ」と「2こ」おはじきの色を変えるとより比較し易い。 		<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 答える見本行動。二つの皿を比べて「こっち」と指さす。 皿を持って比較させていく。